

# 早稲田大学 障がい学生支援室

WASEDA University  
Office for Students with Disabilities



学びを支え、共に歩む  
Learn Together, Live Together

# 障がい学生支援室

早稲田大学障がい学生支援室では、「早稲田大学障がい学生支援に関する基本方針」に基づき、障がいなどの理由から、修学上様々な困難を抱える学生が他の学生と同様の環境で学べるよう、各学部・研究科や関係箇所と連携しながら必要に応じた合理的配慮を提供しています。

## 業務

### 障がい学生への修学支援

身体障がい学生支援部門と発達障がい学生支援部門の2部門で対応しています。

### 支援ボランティアの養成・研修

障がい学生を支援するために必要な知識を持つ人材の養成、研修を行います。

### 教員への支援の提供

教員に対し、障がい学生への配慮方法などに関する情報提供をします。また、音声教材の文字起こしなどの補助的な支援を提供し、授業の運営をサポートします。

### 各種情報提供

障がい学生対象や就職説明会、奨学金などの情報を、支援室に登録している障がい学生に提供します。

### 研修・啓発活動

障がいについての理解を広める取り組みを行います。学内での研修会、講演会、障がい学生と支援者の交流会、キャンパス内のバリアフリー調査、手話講座など、様々な活動を行っています。

## 障がい学生支援室

### 身体障がい学生支援部門

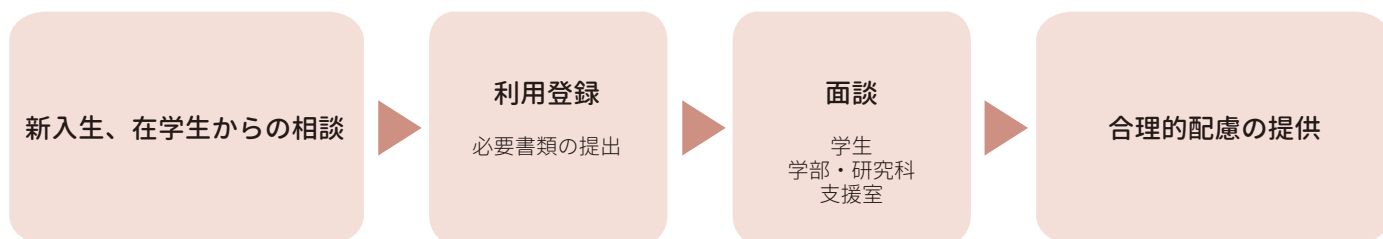
〈対象〉  
聴覚障がい  
視覚障がい  
肢体不自由  
その他の障がい  
(失語症や内部障がいなど)  
一時的な病気やケガ

### 発達障がい学生支援部門

〈対象〉  
  
発達障がい

専門スタッフが相談に応じ、支援の提供を行っています。

## 合理的配慮提供までの流れ



※書類の提出締切が提示されている場合は、締切日までに提出してください。

※必要書類提出後、配慮提供まで**1-2か月**を要することがあります。

また、授業や試験以外の学内の行事で支援が必要な場合は、原則**1か月前**までに申請を行ってください。

### 入学試験での配慮申請について

入試時における配慮については、下記にお問い合わせください。

【一般入試・センター試験利用入試・新思考入試】

早稲田大学入学センターHP

[https://www.waseda.jp/inst/admission/undergraduate/special\\_needs/](https://www.waseda.jp/inst/admission/undergraduate/special_needs/)



【上記以外の入試（大学院入試・AO入試・推薦入試など）】

出願予定の学部・研究科に直接お問い合わせください。

### 支援ボランティアについて

障がい学生支援室では、支援ボランティアの養成と派遣・調整を行っています。この支援ボランティアは、本学学生が担っています。

支援ボランティアは、支援室が主催する支援者養成講座を受講した後に、支援者登録を行い、支援活動に従事します。手話や点字など特別なスキルは要しませんので、興味を持たれた方はお気軽に支援室へご連絡ください。なお、活動に際しては一定の謝金をお支払いしています。

### グローバルエデュケーションセンター設置科目 「障がいの理解と支援」

聴覚障がい、視覚障がい、肢体不自由、発達障がい、視覚聴覚二重障がい（盲ろう）といった障がいを取り上げて、単なる知識の習得で終わるのではなく、理解を深めていくために様々な角度からアプローチする授業です。実際に障がい当事者をゲストスピーカーとしてお招きし、生の声を聴くことができるのも、この授業の醍醐味です。

# 聴覚障がい

## 聴覚障がいとは

聴覚障がいとは「聞こえない」あるいは「聞こえにくい」という状態のことであり、聞こえ方は障がいの程度によって変化します。全く聞こえない人もいれば、補聴器等の活用によって、ある程度音を聞き取れるようになる人など、人によって様々です。

また、聴覚障がいには、伝音性難聴、感音性難聴、混合性難聴の3つの種類があり、聴力だけでなく、難聴の種類によっても聞こえ方が変わってきます。



## 聴覚障がい学生への授業支援

聴覚障がいのある学生は、音声情報を取得することに困難があります。そのため、文字や手話など、代替手段を用いて聴覚障がい学生へ伝える必要があります。本学では聴覚障がい学生へ、下記のような支援を提供しています。

### パソコン通訳（遠隔パソコン通訳を含む）

2名の支援者が連係しながら、先生の話や学生の発言等をパソコンに入力し、音声情報を文字情報に変換して伝えます。障がい学生と支援者が離れている場合（キャンパスが離れている時など）には、遠隔パソコン通訳を行うこともあります。

### 記録

1名の支援者が、授業の要点を中心にノートにまとめていく方法です。自分の耳である程度聞き取ることができる学生が補助的に利用することもあります。またパソコンでは対応が難しい語学や理系の授業などで、パソコン通訳の補助として利用されることもあります。

### 手話通訳

手話を使用する学生の中には、ゼミなどディスカッション重視の授業において、手話通訳を利用することがあります。

### 音声教材の文字起こし、字幕挿入

授業で使用する音声教材の文字起こしやオンデマンドコンテンツの字幕挿入をします。

聴覚障がいは外見上わかりにくい障がいのため、その困難さが理解されにくい障がいです。音声コミュニケーションの場では特にその困難さが現れます。補聴機器の活用によりある程度スムーズに会話できる人もいますが、話し手の口の動きを読み取りながら（＝読話）会話をする人もいます。手話でコミュニケーションをとる人もいます。コミュニケーション手段は人によって、状況によって変わります。

聴覚障がいのある人と会話をする際には、一般的には口元を見せながらはっきりと話し、重要な情報は文字にして伝えると良いでしょう。臨機応変に、あらゆるコミュニケーション手段を活用していくことが大切です。



# 視覚障がい

## 視覚障がいとは

視力によって、「盲（または全盲）」と「弱視（ロービジョン）」の2つに大きく分けられます。盲は全く、あるいはほとんど見えない状態を指し、視覚的な情報を得られません。弱視は、見えにくい状態を指し、保有する視力の活用が可能です。また、視力だけでなく、見え方も人によって異なり、視野の中心が見えない、逆に視野の周辺が見えない、まぶしさを感じやすい、など様々です。



## 視覚障がい学生への授業支援

視覚障がいのある学生は、視覚情報を取得することに困難があります。そのため、音声や点字など、代替手段を用いて視覚障がい学生へ伝える必要があります。本学では視覚障がい学生へ、下記のような支援を提供しています。

### 教材の点訳

授業で使用する教科書やレジュメなどの資料を点訳します。

### 教材のテキストデータ化

授業で使用する教科書やレジュメなどの資料をテキストデータにします。

### 移動支援

慣れない教室への移動などの際に、視覚障がい学生を誘導・案内します。

### 代読

授業で使われるテキストなどを支援者が声に出して代読します。

### 代筆

視覚障がい学生の代わりに、講義中の視覚情報などをノートにとります。

慣れない場所で困っているのを見かけたときは、いきなり手を引いたり体に触れたりせず、まず「お手伝いしましょうか」などと声をかけて、手助けが必要かどうか、本人の希望を確認してください。

話しかける時は、そっと近づいたり黙ったりするとわかりにくいいため、自分から声をかけ名前を名乗ります。また、なるべく周囲の状況を具体的に音声化して伝えるようにしましょう。



# 肢体不自由

## 肢体不自由とは

肢体不自由とは四肢・体幹に何らかの障がいがある状態を指します。障がいのある部位（上肢・下肢・体幹・全身）や、障がいの原因、程度によって状況が大きく異なります。日常生活にはほとんど支障のない人から、杖や車いすなどを使用して生活する人、日常的に介助が必要な人まで様々です。また、進行性の障がいにより、障がいのある部位や状態が変化することもあります。



## 肢体不自由学生への授業支援

肢体不自由学生は、障がいのある部位で困難さが変わります。上肢に障がいがあると、筆記や物の持ち運びなどに困難が生じます。下肢に障がいがあると、移動や課外活動などに困難が生じます。そのため、本学では肢体不自由学生へ、下記のような支援を提供しています。

### 教室調整

授業で使用する教室を、可能な範囲で低層階やエレベーターが設置されている教室に変更します。

### 移動支援

車いすを操作できないなど、自力での移動が難しい場合に支援します。

### 代筆

自分で筆記することが困難な肢体不自由学生の代わりにノートをとります。必要に応じてノートや資料を電子データ化します。

車いすの通路となる場所に荷物を置いたり立ち話をしたりしないことは、間接的にバリアを解消することに繋がります。また、教室のドアを開けることを手伝ったり、エレベーターを優先的に使用させてくれたりすることも、同様に肢体不自由学生にとって手助けになります。階段や急勾配のスロープを上れ（下れ）ないでいる、重い扉を開けようとしている、エレベーターになかなか乗れないでいる、傘やレインコートの着脱に手間取っているなどの状況を見かけたら、声をかけて、手伝えることはないか尋ねてみてください。





# 発達障がい

## 発達障がいとは

生まれつきまたはごく早期から持っている脳機能の障がいにより、発達の遅れや偏りが生じる状態を指します。物事の感じ方や考え方、行動の仕方が大多数の人とは違っているために、対人関係や学業、日常生活や社会生活上の様々な場面でつまずきが生じやすくなります。発達障がいにはいくつかのタイプがあり、複数のタイプを併せもつ人もいます。また、不器用さや特定の感覚過敏などが見られる人もいます。主な発達障がいとして以下のものがあげられます。



主な発達障がい	特徴
自閉スペクトラム症：ASD (Autism Spectrum Disorder) 自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害などを含む	社会性の方向が異なる コミュニケーションが上手くとれない こだわりが強く柔軟性に欠ける
注意欠如・多動症：AD/HD (Attention-Deficit / Hyperactivity Disorder)	集中が続きにくい（不注意） 落ち着きにくい（多動性） 突発的に行動しやすい（衝動性）
限局性学習症：SLD (Specific Learning Disorder)	話す、聞く、読む、書く、計算する、推論する 能力のうち、特定の能力に困難を有する

## 発達障がい学生への授業支援

本学では以下のような修学支援を行っていますが、発達障がいの程度には個人差があり、全ての学生に同じ配慮があてはまる訳ではありません。本人の課題を明確にして、それぞれに適した支援を調整していきます。以下は授業支援の一例ですが、各科目の教育方針も多様なため、依頼などがそのままの形で認められない場合もあります。

### 履修登録では

履修計画が立てられない、自分に適した授業が選択できないといった場合には、学生支援コーディネーターが助言を行います。

### 講義形式の授業では

話を聞きながらノートを取るのが困難な場合には、科目担当教員に講義内容の録音許可やパソコンの持込み許可を依頼します。

### グループワークの場面では

極度に緊張してグループに入れず、授業から足が遠のいてしまう場合には、科目担当教員にグループが組んでいるかの確認や個人での取り組みも認める等の対応を依頼します。

発達障がいは外見からはわかりにくく、同じ診断名であってもその困難の現れ方は一人ひとり違います。上記のような困りごとや悩みを抱えている人を見かけたら、「困っていることがあれば聞くと」と、相手に寄り添うかたちで声をかけてみてください。



## その他

その他として、病弱・虚弱（慢性的な呼吸器疾患、腎臓疾患、神経疾患、悪性新生物など）、脳損傷の後遺症（失語症、記憶障がいなど）などがあげられます。これらの疾患や障がいは、外見上分かりにくい場合もあり、周囲の理解が得られず誤解が生じることもあります。困り感や疾患や障がいの状況、環境によっても変わります。また、手や足の骨折など一時的なケガで筆記や移動がむずかしくなることもあります。修学上困難を感じた場合は、障がい学生支援室へご相談ください。



## 支援機器・キャンパス内のアクセシビリティ

### 障がい学生支援室で利用・貸出可能な支援機器など

#### 共通

iPad、Android タブレット

#### 聴覚障がい関連

補聴援助システム  
（フォナック社ロジャー送受信機）  
電子メモパッド  
（Boogie Board） など

#### 視覚障がい関連

白杖  
拡大読書器（据置型）  
音声点字携帯情報端末  
（ブレイルセンスU2）  
点字タイプライター など

#### 肢体不自由関連

手動車いす  
段差解消機  
（ゼロハイトリフト 150）  
携帯型会話補助装置 など

### キャンパス内のアクセシビリティ

#### 車いす用段差解消スロープ（デクパック）

早稲田・戸山・西早稲田・東伏見・所沢の各キャンパスと障がい学生支援室に各1台ずつ設置

#### 非常用階段避難車（キャリダン）

早稲田・戸山・西早稲田・所沢の各キャンパスに設置

#### UD（ユニバーサルデザイン）マップ

早稲田・戸山・西早稲田・所沢の各キャンパスのUDマップを作成しています。

早稲田大学ダイバーシティ推進室ウェブサイト＞広報出版物＞UD（ユニバーサルデザイン）マップ  
よりご覧いただけます。「早稲田大学 UDマップ」でも検索できます。



## 関連ウェブサイト

### 早稲田大学ダイバーシティ推進室

<https://www.waseda.jp/inst/diversity/>



### 全国高等教育障害学生支援協議会（AHEAD-JAPAN）

障がいのある学生の支援に関する全国協議会

<http://ahead-japan.org/>



### 日本学生支援機構（JASSO）

障がい学生支援に関する情報

[https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu\\_shien/index.html](https://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/index.html)



### 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）

聴覚障がいのある学生の支援に関する情報

<http://www.pepnet-j.org/web/>



### 大学入試センター

受験上の配慮案内

<http://www.dnc.ac.jp/studentandparent/index.html>



### 国立国会図書館

障がいのある方への図書館利用支援

<http://www.ndl.go.jp/jp/support/index.html>



### 高齢・障害・求職者雇用支援機構

障がい者の雇用支援

<http://www.jeed.or.jp/disability/index.html>



# Office for Students with Disabilities

The Office for Students with Disabilities (OSD) at Waseda University works with faculties, departments, graduate schools and other sections of the University to ensure that students who are experiencing difficulties with their studies for reasons of disability are able to access the same opportunities in the same learning environment as other students based on the concept of reasonable accommodation as needed. This will take the form of a support plan prepared in accordance with the principles set out in Basic Principles for Supporting Students with Disabilities at Waseda University.

## Services

### Academic support for students with disabilities

The Office for Students with Disabilities comprises the Support Department for Students with Physical Disabilities and the Support Department for Students with Developmental Disorders.

### Training for supporters

Our training programs equip support staff with the skills to provide support and assistance to students with disabilities.

### Support for faculty

We provide teaching staff with useful tips and strategies on inclusive teaching styles to accommodate students with disabilities, along with ancillary services such as audio transcription of lectures and classes.

### Provision of various information

Students can register with the OSD to receive regular notifications of information sessions on topics such as employment opportunities and scholarship applications targeted for students with disabilities.

### Activities for raising awareness

We conduct training and awareness programs designed to promote understanding and acceptance of disability. These take a variety of forms including in-house training programs, lecture presentations, workshops with students with disabilities and assistants, surveys of on-campus barriers to disability, and sign language courses.

#### Office for Students with Disabilities

##### Support Department for Students with Physical Disabilities

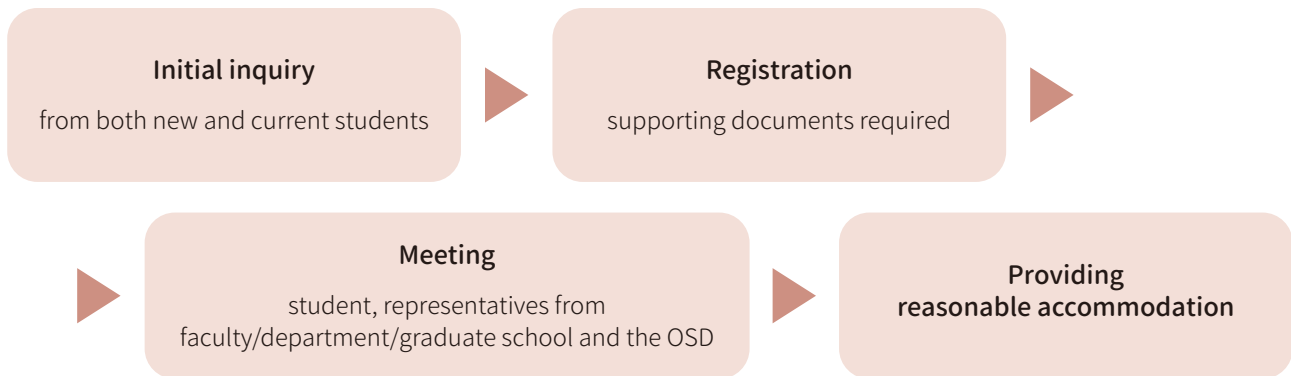
- Hearing impairment
- Visual impairment
- Mobility impairment
- Other forms of disability e.g. aphasia, internal impediment
- Short-term illness or injury

##### Support Department for Students with Developmental Disorders

- Developmental disorders

Our dedicated staffs are here to assist you. Feel free to get in contact at any time.

## Providing reasonable accommodation



Note: Please submit supporting documents required no later than the deadline (if any).

Note: The process of developing a support plan before providing reasonable accommodation can take up to two months from submission of documentation.

If you require support for a specific university event or function other than normal classes and examinations, please contact us at least one month in advance in principle.

### Application for special consideration in relation to the entrance examination

To apply for special consideration in relation to the entrance examination, contact the office of undergraduate / graduate schools.

## Hearing impairment

### What is hearing impairment?

The term “hearing impairment” covers both complete deafness and mild to moderate hearing loss (also known as hard of hearing). Thus, a person with hearing impairment may hear nothing at all or may enjoy a reasonable level of hearing with the help of a hearing aid.

Hearing impairments are divided into three categories—conduction deafness, sensorineural deafness and mixed deafness—depending on the nature and severity of the hearing loss.



## Support services for hearing impaired students

Hearing impaired students may require course content to be delivered in alternative formats such as text or sign language. Waseda University offers the following forms of support for hearing impaired students.

### **PC on-screen captioning (including remote-captioning system)**

Two supporters take turns to caption presentations and class discussions between students in real time. The resulting written record is provided directly to the hearing impaired student. Where the supporters are not present in class, this is called remote captioning.

### **Summary notes**

A supporter takes notes of the main points covered during class. This service is often used by students with mild or moderate hearing loss to augment their own notes, or to supplement PC on-screen captioning in more complex subjects such as foreign languages and sciences.

### **Sign language interpreting**

Sign language interpreting is particularly useful in discussion-based settings such as workshops and seminars.

### **Transcription of audible course materials**

This service covers transcription of audio materials used in class and subtitling of on-demand content.

## Visual impairment

### What is visual impairment?

Visual impairment is broadly classified into blindness (also known as total blindness) and low vision. Blindness refers to total or substantial loss of vision, meaning little or no access to visual information. Low vision refers to poor eyesight, though with some degree of visual acuity. There may be additional complications, such as poor vision in the center region only (or conversely at the peripheries only) or sensitivity to bright light.



### Support services for vision impaired students

Vision impaired students may require course content to be delivered in alternative formats such as spoken word or Braille. Waseda University offers the following forms of support for vision impaired students.

### **Translation of text into braille**

Textbooks, content summaries and other class materials are converted to Braille format.

**Text data**

Textbooks, content summaries and other class materials are converted to text data format.

**Sighted guide**

Assistance is provided for getting around the campus—for example, finding an unfamiliar classroom.

**Reading service**

A supporter reads out textbooks and other materials used in class.

**Assistance with taking notes**

A supporter takes notes on visual material presented during class for vision impaired students.

## Mobility impairment

### What is mobility impairment?

Mobility impairment refers to any form of disability in relation to the limbs and/or torso. Such disabilities can vary widely, from limitations associated with a single arm or leg to a full-body afflictions; depending on the cause or degree of disabilities; and from a disability with minimal impact on day-to-day life to one that requires a cane or wheelchair or round-the-clock care. Also the type, location or severity of a disability can change over time.



### Support services for mobility impaired students

Different forms of mobility impairment pose different challenges for students. An upper limb disability can prevent writing and carrying objects, while a lower limb disability can hinder movement or limit participation in extra-curricular activities. Waseda University offers the following forms of support for mobility impaired students.

**Assignment of classrooms**

Classes may be reallocated to lower-level floors or close to an elevator where possible to maximize ease of access.

**Mobility support on campus**

Mobility support on campus is provided to students who need helping using a wheelchair, for instance.

**Assistance with taking notes**

A supporter takes notes of material covered in class for mobility impaired students. These may be provided in handwritten form or as text data.

# Developmental disorders

## What are developmental disorder?

A developmental disorder is an impairment of brain functioning that has been present since birth or infancy and that has led to delays or distortions in the growth and development process. Developmental disorders may involve altered perception or thought processes or behaviors or actions that manifest as difficulties in a variety of different areas such as social interaction, academic study, performing everyday tasks or functioning in society. There are several distinct types of developmental disorders, and some people may be affected by more than one type. Hypersensitivity and limited fine motor skills in specific areas are commonly seen. The main forms of developmental disorder are listed below.



Developmental disorder	Description
Autism Spectrum Disorder (ASD) Includes autism, Asperger's syndrome and pervasive developmental disorder (PDD)	Different perception of the world and others Difficulties with socialization and communication Tendency towards fixation and lack of flexibility
Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder (AD/HD)	Short attention span—poor concentration Hyperactive—unable to settle down Impulsive—prone to sudden action
Specific Learning Disorder (SLD)	Reduced functioning in a specific area such as speaking, listening, reading, writing, reasoning and deduction or mathematical processes

## Support services for students with developmental disorder

Waseda University offers a range of support services for students with a developmental disorders. Support services are tailored to individual needs, given that Developmental disorders can vary considerably. Examples are presented below. Note that requests for support services are occasionally modified in order to accommodate course content and/or delivery requirements.

### On course registration

The Student Support Coordinator can provide advice and assistance to students who are unable to develop a course plan or enroll in their preferred subjects.

### In a lecture type class

Students who have difficulty listening and taking notes at the same time can request permission to make a recording of the lecturer and/or bring a computer to lectures.

### In group work

Where a student experiences extreme anxiety about working in groups to the extent that they feel unable to attend classes, OSD can assist by asking the instructor who decides grouping or giving approval for special strategies to accommodate the student.



## Other

Debilitating or enervating conditions such as chronic respiratory illness, kidney disorder, neurological disorder and malignant neoplasm may not be immediately obvious to the casual observer. The same is true of certain impacts of acquired brain injury such as aphasia and memory disorder. Meanwhile, the symptoms themselves may vary depending on the environment and situation. This can lead to inadvertent misunderstandings or even mistrust.

At the other end of the scale, an obvious injury such as a broken hand or foot can temporarily affect ordinary tasks such as taking notes and moving from one classroom to another. OSD is here to help any student experiencing difficulty with their studies due to a temporary or ongoing condition. Feel free to get in touch.



## Assistive devices and campus accessibility

### Assistive devices available for loan from OSD

#### Common

- iPad and Android tablets

#### Hearing impairment

- Hearing aid system (Phonak Roger transmitter)
- Electronic memo pad (Boogie Board), etc.

#### Visual impairment

- White cane
- Desktop reading machine (text magnifier)
- Portable audio and Braille PDA (Braille Sense U2)
- Braille typewriter, etc.

#### Mobility impairment

- Wheelchair (non-powered)
- Wheelchair lift (Zero Height Lift 150)
- Portable voice synthesizer, etc.

### Accessibility on campus

#### DECPAC wheelchair ramps

The Waseda, Toyama, Nishi-Waseda, Higashi-Fushimi and Tokorozawa campuses and OSD each have a wheelchair ramp.

#### CARRYDUN emergency evacuation cart for stairs

Available at Waseda, Toyama, Nishi-Waseda and Tokorozawa campuses.

#### Accessibility map

Accessibility maps for Waseda, Toyama, Nishi-Waseda and Tokorozawa campuses are available under the Waseda University website > Office for Promotion of Equality and Diversity > Publications > Accessibility map, or search “Waseda University UD Maps.”

**早稲田大学 スチューデントダイバーシティセンター 障がい学生支援室**  
**WASEDA University Equality and Diversity Center**  
**Office for Students with Disabilities**

**身体障がい学生支援部門**

〒169-8050  
東京都新宿区西早稲田1-6-1  
早稲田キャンパス3号館110  
開室時間：月曜日-金曜日 9:00-17:00

T E L : 03-5286-3747  
F A X : 03-5286-0642  
E-Mail: shienshitsu@list.waseda.jp

**発達障がい学生支援部門**

〒169-8050  
東京都新宿区戸塚町1-102  
早稲田キャンパス27-10号館（早稲田関口ビル）5階502  
開室時間：月曜日-金曜日 9:00-17:00

T E L : 03-3208-0587  
F A X : 03-3208-0960  
E-Mail: shien02@list.waseda.jp

**Support Department for Students with  
Physical Disabilities**

#110 Building No.3,  
Waseda Campus 1-6-1 Nishi Waseda,  
Shinjuku-ku Tokyo 169-8050, Japan

Office Hours: Weekday 9:00 to 17:00  
(Closed on weekends)

**Support Department for Students with  
Developmental Disorders**

#502 5th Floor, Building No.27-10  
(Waseda Sekiguchi Building),  
Waseda Campus 1-102 Totsukamachi,  
Shinjuku-ku, Tokyo 169-8050, Japan

Office Hours: Weekday 9:00 to 17:00  
(Closed on weekends)

Website: (日本語) <https://www.waseda.jp/inst/dsso/>  
(English) <https://www.waseda.jp/inst/dsso/en/>  
Twitter: @wasedau\_dsso  
Facebook: <http://www.facebook.com/WasedaU.DSSO>

Website



Twitter



Facebook

